



# 環境カレッジに参加して!!



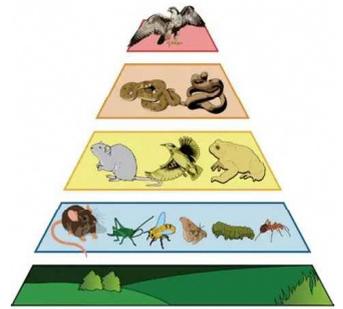
いつの頃からか、「わからないことは（その道の）プロに学ぶ」という言葉を頭の片隅に置いています。概してプロに学んだところで簡単に答えを得たり技能を身につけられるものではなく、結局は自らの試行錯誤の実践の蓄積の中でしかそれらを見いだしたり身につけたりするしかないのですが、プロの話や姿からは方策の手がかりや真髄への示唆を見いだすことができます。余談ですが、だからこそ、簡単に「答え」を与えてくれる AI（人工知能）への依存社会の到来はちょっと怖いのです。

さて、自然や環境についての疑問への示唆を得るため、埼玉県生態系保護協会主催の2025「環境カレッジ」教養課程に参加しました。内容は、講義7回、実習3回、活動体験レポートです。講義は、①本当の環境問題②生物多様性③持続可能な第一次産業④企業活動とエネルギー⑤埼玉の自然環境⑥まちづくりの計画⑦地域の自然を守る戦術、実習は北本自然観察公園（野外実習）、所沢のまちづくり（現地視察）、活動現場視察（川口芝川第一調整池・入間大森調整池・所沢おおたかの森）、活動体験レポートは荒川大麻生公園（野鳥の森）自然観察路の整備でした。

自然や環境に関心を持つ老若男女バラエティに富んだメンバーが県内各地から集まりました。その多様性にまずは驚きました。学びを通して、自然とは何か？自然はなぜ大切か？持続可能な地域の理想像とは？→これらを自分の言葉で説明できること、自然の豊かさは地域に昔からいる生き物（動植物）が今もいるか・生態ピラミッドの頂点の生き物が今もいるかが指標となる、活動の主体に次世代の主人公である子供たちを取り組んでいくこと…等々、印象的なヒントをたくさんいただきました。

未熟ながら、筆者の現時点の造園技能士1級、生態系保護指導員2級の技能や知識で、里山活動他、故郷吉岡の未来に微力でも貢献できればよいなと思いました。ただ、自分の中での「答え」は、まだまだ五里霧中です。焦らず気負わず一歩一歩です。

12月の里山活動は、12月14日（日）に行われました。自治会の皆様、立正大学関係者、中学校関係者、PTA、個人ボランティアなど20数名の参加者が、つつみ造園様のご指導の下、苗木の植栽をしました。雨上がり後の安全を考え、当初予定していた八幡神社北側斜面から中学校駐車場西側の林に変更し、ヤマツツジ40株、ヤマブキ70株を植えました。春の開花が楽しみです。お疲れ様でした。よいお年をお迎えください。



生態ピラミッドを守る



写真担当  
立正大学20歳コンビ



植え付けレクチャー



植え付け作業



次回活動日（1月は休会）  
2月9日（日） 9:00～  
焼き芋等を予定（吉中駐車場集合）



カラー版  
熊谷市HPに掲載中！！